

令和6年第14回教育委員会会議録

1 日時

令和6年8月22日（木）15時00分

2 場所

教育委員会会議室

3 出席者

教 育 長：石橋正信

教育委員：町孝、原志津子、武部愛子、徳成晃隆

事 務 局：福田教育次長、木下理事

中尾総務部長、齊藤指導部長

中野総務課長、平川教育政策課長、竹内中学校教育課長、松本発達教育センター所長

4 会議事項

(1) 付議事項

付議案第35号 教科用図書について（継続審議）

(2) 臨時代理報告事項

なし

(3) 協議・報告事項

協議・報告ア 第3次福岡市教育振興基本計画の検討状況について

5 開会

教育長開会を宣告 15時00分

協議・報告アは議会に報告する案件のため、議決により非公開とされた。

6 付議事項

▼付議案第35号 教科用図書について

竹内課長より説明

《下記のとおり採決》

〔小学校の教科用図書〕

令和6年度使用の教科用図書を令和7年度も継続して使用

〔中学校の教科用図書〕

国語	光村図書出版
書写	光村図書出版
地理的分野	帝国書院
歴史的分野	東京書籍
公民的分野	東京書籍
地図	帝国書院
数学	学校図書
理科	東京書籍
音楽一般	教育出版
器楽合奏	教育芸術社
美術	光村図書出版
保健体育	Gakken
技術分野	東京書籍
家庭分野	東京書籍
英語	三省堂
道徳	東京書籍

〔小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部の教科用図書〕

原案どおり可決

〔質疑等〕

(町委員)

- 教育委員会制度というのは、レイマンコントロール、いわゆる市民によるコントロールが一番重視されている。我々は今回、市民の代表として教科書の選定に携わらせていただいた。福岡市の市民としては、子どもたちが自ら学ぶ力、他者と協同する力、さらには未来をつくる力、この３つを今から重視していくわけだが、そこに至るまでの、子どもたちが、一斉授業に代表される受動的な学びから自らが課題を課して、自らの力で試行錯誤しながら学びを調整して、解決に向かう力、こういった能動的な学びができるような教科書を選びたいということで、調査研究委員会、学校長、市民のみなさまのご意見等をくまなく拝読させていただいた。その中から我々、それぞれ個人的には全部意見が違うわけだが、勉強させていただいた。今からどういう結果になるか分からないが、よろしく願います。

(徳成委員)

- 質問は数学についてであるが、調査研究委員会の答申で高い評価を得た教科書がこれまで採択実績が全くなく、学校長意見としては非常に低い結果となっている。答申の内容をみると、数学的活動場面での効果的な展開設定となっているといったことや、数学的表現を用いて説明する機会を効果的に展開することが期待

できるといった点について高い評価を得ているようである。本市の学力課題を解決するための戦略的要素がおそらくあるのだろうと思って読ませていただいた。ただし、前回の大改訂で大きく内容が変わって、データ分析などが重視されたり、単元の学年間移行もいくつかあったり、質、量ともかなり増加していると感じた。問題の質や量からしてもやや高度とも受け取れたが、現行の教科書と比較して、福岡市の課題解決に繋がる優位性としてどういったことがあるのか簡単でいいので教えていただきたい。

(竹内課長)

- ご指摘の数学科については、学校長意見書を事務局としてしっかりみさせていただいた中でも、生徒や先生にとって使いやすいか、生徒の実情に対して適当かということを中心に評価していただいて、その視点は生徒の学びに向かう力にとって重要であることは認識しているところで、研究会においても調査させていただいたところである。それに加えて、現在、福岡市の子どもたちは、数学の力が伸びている状況である、非常に力を付けているということで、さらに子どもたちが、自主的に学んでいく、主体的に学んでいく、そして協同的に学んでいくために、全ての教科書を見せていただいたときに、全ての教科書が本当によく考えて作ってくださっていてどれも素晴らしかったが、学び方を学ぶ視点、自ら学んでいく視点をさらに力として付けていく、そういったところを今後、福岡市の子どもたちには身に付けてあげたい、そういったところ中心に考えたときに、数学的活動展開、そして授業改善の方向性を示すものはどれかという視点で、調査をした上で、答申としてご報告させていただいたものである。

(徳成委員)

- 最後に意見を述べさせていただく。今回の教科書検定において、大阪の藤井寺市の汚職事件で検定不合格となった教科書があった。文部科学省の罰則措置がなされたわけだが、振り返ると、7年前に起きた教科書に関する不適切な事件だが、当時、福岡市も減給処分をした校長はじめ22名の処分者を出している。このことを踏まえて採択制度の厳格化等の改善策がこれまで行われてきたのだが、この事件の問題性、何がよくて何がよくないのかということ、今の先生方に果たして語り継がれてきたのかということ、大阪の事件をみて心配になったところである。まだ10年も経っていない中で今回の事件発生を、福岡市も他山の石として捉え、福岡市教育委員会として再発防止の徹底を是非進めていただきたい。

(原委員)

- 一言意見というか感想を述べさせていただく。今回の教科書、主体的で対話的で深い学びという観点からして、とても意欲的な内容が多くて、各教科、協議する内容を流すような構成になっているものも多くて、とても良いと思った。私としては、本市の学力のレベル、現状に対応して、今後の方針を、学力の伸びとい

うところを重視して選択したいと思っている。もう一つは、二次元コードについて、デジタルコンテンツが、今回は配置というところで、項目に観点ということで上がっているが、内容については、割といろいろなことがされてあって、そこも拝見させていただいたが、英語によっては内容もそこに踏み込んで、配慮して個々で検討されているということだが、今後、さらにこういうものを使ってより意欲的な教科書ができるとよいと思った。

(武部委員)

- 今回、いろいろと違う判断が出たということで、特によく読んだのと、とても考えるチャンスを提供したなと思っている。その途中途中でいつも思い出さなければならぬなと思っていたのが、もちろん理解しやすい、教えやすいというものもあるが、数学的、理科学的な考え方や、芸術的な感性だとか、国語的な物事を理解だとか、そういうところの頭を作っていくことに、最終的には知識もだが、プラスでそういう考える力を育てていくというところを、いつも考えながら教科書を見ていかなければならぬと思っていた。それから、これだけの教科書と、委員の先生方や我々などいろいろな人間が一生懸命考えたので、やはり学ぶのは子どもたちだが、それを教えるのは先生方なので、是非先生方の教える力もこれから見ていきたいと思った。

7 臨時代理報告事項

なし

8 協議・報告事項

- ▼協議・報告ア 第3次福岡市教育振興基本計画の検討状況について
平川課長より説明

9 閉会

教育長閉会を宣告 15時55分